

編集後記

私が県卓球連盟（県卓連）の理事長を勤めたのは昭和40年代で、昭和30年代は、県高体連卓球部委員長として県卓連の理事となり理事会に出席、意見、考え方を述べた程度です。昭和50年以降は副会長の気楽さから、大事な事件、人事等に付いては記録もとらず記憶にいたっては年と共に忘却が烈しくなっていました。それでいて編集委員長を引き受けたのは、元理事長として最古参であった為です。

戦前については、福島民報社、福島民友新聞社がそれぞれ“福島県百科大事典”（昭和55年に刊行）を刊行することになり、福島県の卓球についての原稿の依頼がありました。それに応じて、田辺要、鈴木重郎治、梅宮フミ、秋沢静枝各位から手記を寄せていただいたり、スポーツ風土記・福島県（吉田清計著）、卓球お国めぐり福島県（ニッタクニュース等）を参考にしながら執筆したのを基にして書きました。

昭和20年代は、土屋弘、佐藤昭典、三浦勝美各位の話や、先に取材した記事を中心にまとめましたが、後藤寿二氏の会長就任前後については突っ込みが不足していたと反省しています。日本卓球株式会社社長 向原一雄氏の祝辞を読んでいたきたい。

昭和40年以降については、選手の育成、強化に盡力した方々、卓球協会の運営に盡力した方々を卓球協会の発展、充実にあわせて紹介することを目的として筆を進めました。然し、鈴木重郎治会長、山崎啓哲副会長、三浦勝美会長等指導と、バックアップして下さった方々については割愛しました。

通史執筆にあたり、松崎俊一、大橋 桓、深谷秀三の各位からは貴重な資料を提出していただき、大変参考になりました。まだ目の目を見ない資料もあると思います。それを発見された時には送付していただければ幸いです。それをもとに気長にのんびりと70年史の推敲をしておきたいと思って居ります。

最後になりましたが、今回の70年史が100年史、150年史の基礎になると思いますと、良い時に西郷徹夫会長は、70年誌の決意をされたと感謝の気持ちを込めて、お礼申し上げます。

原稿を寄せていただきました各位、その原稿に目を通してくれた深谷秀三先生はじめ編集委員各位の努力に感謝申し上げて後記といたします。

（宇賀神 喜嗣）



〈編集委員〉

委員長 宇賀神 喜 嗣
副委員長 三 浦 勝 美
副委員長 深 谷 秀 三
事務局長 伊 東 守 信
委員 土 屋 弘 典
委員 佐 藤 昭 典
委員 松 崎 俊 一
委員 大 橋 樞 夫
委員 壁 谷 之

委員 西 郷 徹 大
委員 平 石 家 治
委員 伊 藤 秀 行
委員 渡 部 長 二
委員 甚 野 道 雄
委員 影 山 澄 男
委員 長 場 壯 美
委員 菊 地 敏

福島県卓球協会設立 70 周年記念誌

発行日 平成11年12月11日
編集 福島県卓球協会 70 年史編纂委員会
発行責任者 福島県卓球協会会長 西郷 徹夫
事務局 福島県卓球協会理事 伊藤 秀行
〒960-0604 福島県伊達郡保原町元木 88 - 1
TEL・FAX 0245 - 76 - 3718
印刷 (有) シ ャ
〒963-8052 郡山市八山田 3 丁目 22 番
TEL 024-923-0379・FAX 024-938-1911